

（長瀬）が先進国では主流であるのに、地元には利益の生じない発地設は必要でないと考え

にうれしかったです。

同時に先日見つかった祖母の俳句ノートが頭をよぎりました。俳句を始めるきっかけを恩師のお声掛けでしたが、手書き句を詠む血を受けていると実感しました。胸の気持ちを込めて句を詠ごきたいと思えます。

2020/12/26

時事柳屋宛先は「読者の手紙」と同じ。紙上雅号は6字まで。雅号の途中変更は不可。締め切りは15時。

他紙との二重投稿、採用の可否や掲載の問い合わせは遠慮ください。趣旨が変えず添削する場合は図書カードを贈ります。

投稿のきまり

読者の手紙 500字程度。住所・氏名・性別・年齢・職業・電話番号を明記。実名の投稿を採用します。匿名は原則不可（理由・内容によっては可）。宛先は〒770-8572 徳島新聞社「読者の手紙」係。ファクスは(0120)550380。徳島新聞電子版の投稿欄 (www.topics.or.jp) から。

上からたしのか正直などころだ。

開催時の感染リスクを抑えるため、参加ランナーを県民限定などにしたほか、各種対策も十分に整えるという。とはいえ、マラソンと言えばスタートから数分先までの密集を連想する人は多いと思う。ランナー同

県出身者



堂島実業は、大阪府泉大津市で石油製品の販売や倉庫業を手掛ける。化学工場が立ち並ぶ臨海工業地帯の一面に倉庫2棟を構え、関西圏の自動車販売店が使う潤滑油などを取り扱う。エコカーや再生可能エネルギーの普及を背景に、石油業界を取り巻く環境変化が著しい中、「従業員のためにできるだけ長く事業を継承していきたい」と使命感をにじませる。

マラソン終

むしろ感染リスクが心配されるのは大会終了後ではないだろうか。レースを振り返りながら仲間と乾杯するランナーは少なくない。何より楽しい時間だが、会食が感染急増の場となるケースが目立つ。今回はステイホームか、リモート飲み会。（矢田諭史）

勢喜 清則さん

堂島実業 取締役 代表



社長に就いたのは55歳。総務部長から昇格した。堂島実業は石油元売り大手・旧昭和シエルの代行店として創業したものの、当時は昭和シエルが拠点の再編を進めており、た」と笑顔で振り返る。

1948年卒業。入会後、大阪25歳。徳島市在住。72歳。

田舎らしい自然残して

地元の阿波踊り連「南大阪連」に所属し、男踊りでは最年長メンバー。連に入ったのも50代からで「大きな仕事が多くなり気持ちにゆとりができて、鉦の音が気になるようになった」と笑う。

(廣井和也)

50カ国・地域

発し、保有するに至った。北朝鮮はNPTに加盟していたが、脱退を宣言し2003年以降、核開発を加速化。06年から計6回の核実験を行った。残念なことに、唯一の被爆国である日本は核兵器禁止条約を支持していない。政府が米国の「核の傘」に依存する政策を採っているからだ。

借したの北休広名、利休名はす帯びた

さみ)

カボチャは栄養たっぷり、煮ても焼いても、揚げたりの緑黄色野菜だ。夏に掛けてもいい。